南小学校のおたより

『いっせいの』で解き放て！　想い描いたTHUMBNAIL

― 『もういいかい・まあだだよ・もういいよ』 ―

第０４９号（Ｒ０８．１１．１０）

～　火災による避難訓練のお話　　～

みなさん、こんにちは。

避難訓練では、しっかり取り組むことができましたか。今日は、火事が起きたときに『自分の命を 自分で守る』ための大切なお話をします。画面を見ながら、いっしょに確認しましょう。

今日は、『０・１・３つの道具・？』を覚えましょう。 ひとつずつ、順番に見ていきましょう。

まずは、『０、逃げる前の準備』です。 みなさんは、学校の『逃げる道』*をしっかり覚えているでしょうか？
どこから外に出るのが安全か、普段から確認しておくことが大切です。
そして、火事を起こさないためのお約束も、しっかり守りましょう。

次は、『１、火事が起きたときの動き』です。もし火事を見つけたら、まずは大きな声で『火事だー！』と叫んで、周りの大人や先生に知らせましょう。

そして、「逃げるときは、次の４つのお約束を必ず守ります。



この約束を守ることが、安全に逃げるための第１歩です。

ここで火事のときにみんなを助けてくれる『３つの道具』を紹介します。

１つめは、『消火器』です。火を消すための道具ですね。高学年のみなさんや大人の人が使います。使い方はとても簡単で、３つのステップです。

①ピンを抜く　②ホースを火に向ける　③レバーを強く握る



この順番で火を消します。

２つめは、『屋内消火栓』です。 壁の中にホースが入っていて、お水がたくさん出る道具です。とても水圧が強くて水に勢いがあるため、大人の人が使う道具として覚えましょう。

３つめは、『避難袋』です。 階段が煙で通れなくなったときなどに、上の階の窓から出して使います。すべり台のようにすべり降りて、下へ安全に逃げることができます。

さいごは、『？、いつもと違う時』です。

もし、休み時間やトイレにいるときなど、先生が近くにいない場所で火事が起きたらどうしますか？

もし、逃げる途中でお友達がケガをしていたらどうしますか？ 『先生がいないからわからない』ではなく、『どうしたらいいか、自分で考えて動く』ことが一番大切です。

今日のまとめです。

【０】逃げる道の確認

【１】『火事だ！』と『お・は・し・も』

【３】助ける道具の知識

【？】自分で考えて動く力

これらを忘れずに、いつでも『自分の命は自分で守れる』人になりましょう。 他のことでも、自分で考えて、判断して、行動できる子供になろう。